

30日死者統計(平成20年11月末)

1 県下と全国の発生状況

区分		11月中			11月末		
		増減	比率	増減	比率		
死者	24時間死者	16	-8	1.00	176	-28	1.00
	30日死者	6	±0	0.38	42	+3	0.24
	30日以内死者	22	-8	1.38	218	-25	1.24

区分		10月中			10月末		
		増減	比率	増減	比率		
死者	24時間死者	498	-49	1.00	4,105	-562	1.00
	30日死者	75	-12	0.15	698	-7	0.17
	30日以内死者	573	-61	1.15	4,803	-569	1.17

- 注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。
 2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。
 3 比率とは、「30日以内死者」の「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の 倍と表す。

2 概要

11月末の県下の「30日死者」は42人(+3人)、「24時間死者」は176人(-28人)で、これらをあわせた「30日以内死者」は218人(-25人)であり、「24時間死者」の1.24倍の比率となっている。

3 特徴(30日死者の構成率)

地区別 阪神11人(26.2%)、東播8人(19.0%)、神戸7人(16.7%)、西播7人(16.7%)、但馬6人(14.3%)、淡路2人(4.8%)、高速1人(2.4%)の順で発生している。

状態別 歩行中14人(33.3%)、自転車乗用中11人(26.2%)、自動車乗用中10人(23.8%)、原付乗用中6人(14.3%)、自動二輪乗用中1人(2.4%)の順で発生している。

年齢層別 65歳以上の高齢者が22人(52.4%)、25~64歳の成人が14人(33.3%)、15歳以下の子どもが5人(11.9%)、16~24歳の若年者が1人(2.4%)の順で発生している。

経過日数別 10日以内の死亡が37人(88.1%)である。

損傷部位別 頭部の損傷が31人と73.8%を占めている。

